

# 小金井市シティプロモーション基本方針



ほどよく都会。



ほどよく田舎。



令和元年5月  
小金井市企画財政部  
企画政策課・広報秘書課

# 目次

1	シティプロモーションとは	
(1)	基本方針策定の背景	1
(2)	定義及び策定の目的	1
(3)	基本方針の位置付け	2
2	本市の現状と課題	
(1)	人口動態	3
(2)	転入・転出の状況	3
(3)	定住意向	4
3	基本的な考え方	
(1)	ターゲット（誰に）	5
(2)	内容（何を）	5
(3)	発信方法（どのように）	6
4	推進体制	
(1)	市内の推進体制	7
(2)	観光大使制度のさらなる活用	8
(3)	関係団体との連携	8
(4)	市民との連携	8
(5)	小金井市イメージキャラクター「こきんちゃん」の有効活用	9
(6)	シビックプライドの重要性	10
(7)	小金井市のブランドメッセージ	10
(8)	シティプロモーションにおける今後の展開	10
(9)	評価指標と数値目標	11
5	資料編	
(1)	「平成30年度 小金井市市民意向調査」集計結果（抜粋）	12
(2)	「学生アンケート」集計結果（抜粋）	16
(3)	小金井市のPR資源	22
(4)	小金井市観光大使の紹介	31

# 1 シティプロモーションとは

## (1) 基本方針策定の背景

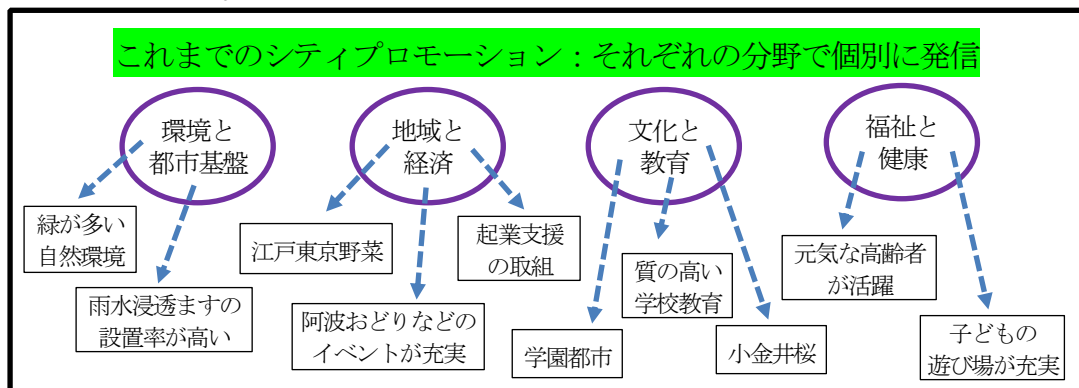
本市は、交通アクセスの良さから通勤・通学するには便利であり、閑静な住環境、豊かな自然環境を背景にベッドタウンとして人口を伸ばしてきました。全国的に少子高齢化が進み、人口減少局面に入中、本市の人口は平成29年10月に12万人を超え、現在でも微増傾向にありますが、近い将来、人口減少が見込まれ、少子高齢化が進んでいくことが予想されているところです。

少子高齢化により医療・福祉などの社会保障関連経費は増加し、生産年齢人口の減少により地域経済や税収は縮小され、地域活力が低下してしまうことが強く懸念されます。今後も持続可能なまちとするためには、交流人口の増加を図り、定住化を促進させる取組として、シティプロモーションがより重要となってきます。

## (2) 定義及び策定の目的

本市のシティプロモーションは、第4次小金井市基本構想・後期基本計画及び小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、市内外へ地域の魅力を積極的に発信することに取り組んできました。しかしながら、全国的に人口減少局面に入中、数ある自治体の中から選ばれるまちとなるためには、一つ一つの魅力を個別に発信していくだけではなく、小金井市としてPRしたい方向性を定め、その方向性に従ってつながりを持つような発信をしていくことがより効果的です。

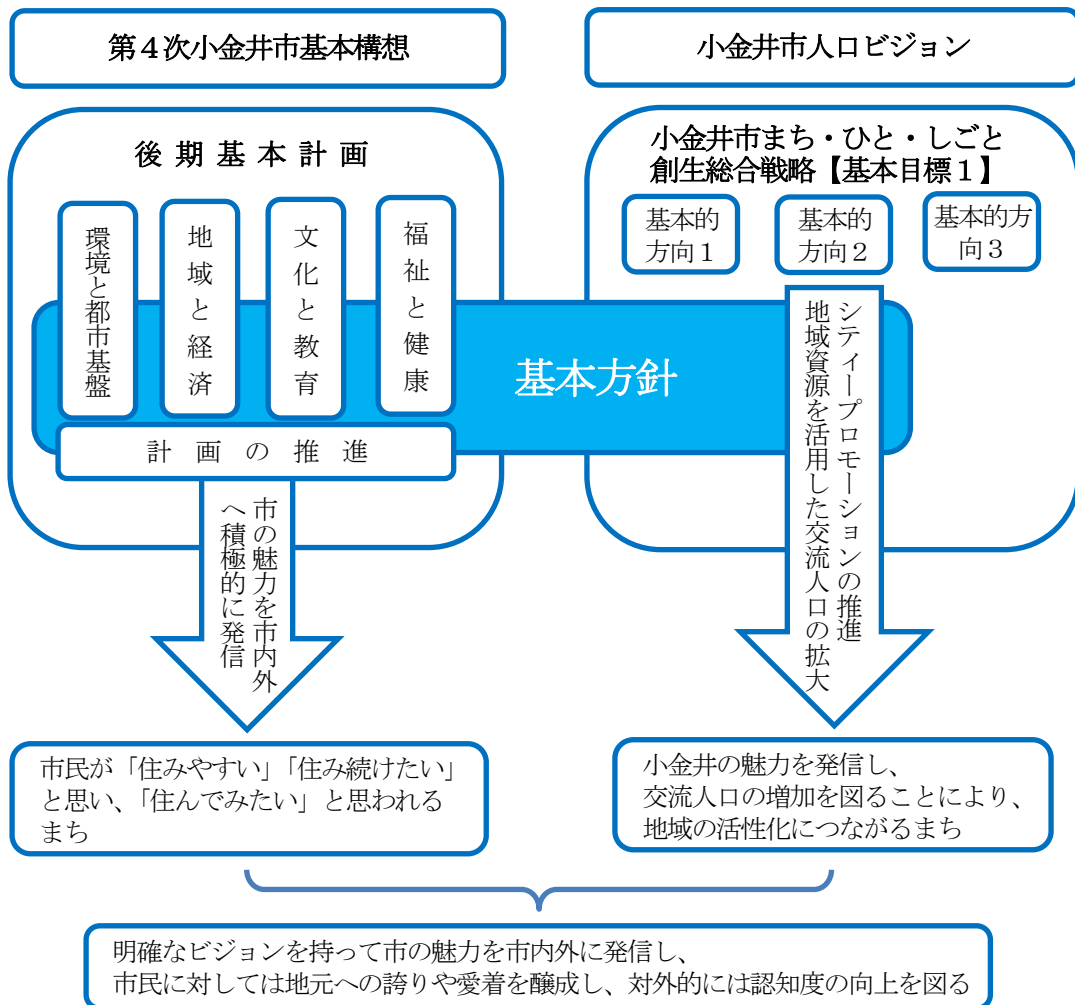
そこで、シティプロモーションの定義を「明確なビジョンを持って市の魅力を市内外に発信し、市民に対しては地元への誇りや愛着を醸成し、対外的には認知度の向上を図ること」とし、これを戦略的・継続的に推進することを目的として、小金井市シティプロモーション基本方針（以下「基本方針」という。）を策定することとしました。



(3) 基本方針の位置付け

第4次小金井市基本構想・後期基本計画では、4つの柱を推進するための「計画の推進」における主な取組の一つである「広報活動の充実」の中で、「市の魅力を市内外へ積極的に発信するシティプロモーションに取り組みます。」としています。また、小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「小金井の魅力を発信し、交流人口の増加を図ることにより、地域の活性化につながるまち」を基本目標の一つに掲げており、それに向けた基本的方向として、「小金井の魅力を発信するシティプロモーションの推進」を挙げています。

この基本方針は、第4次小金井市基本構想・後期基本計画の4つの柱と横断的に関わるとともに、小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本目標1に向けた基本的方向2に基づく施策の進め方を具体的に示すものと位置付け、シティプロモーションを進めていく上で必要な現状と課題の整理を行い、「誰に」（P. 5 ターゲット）、「何を」（P. 5 内容）、「どのように」（P. 6 発信方法）の主に3つの視点について示していきます。



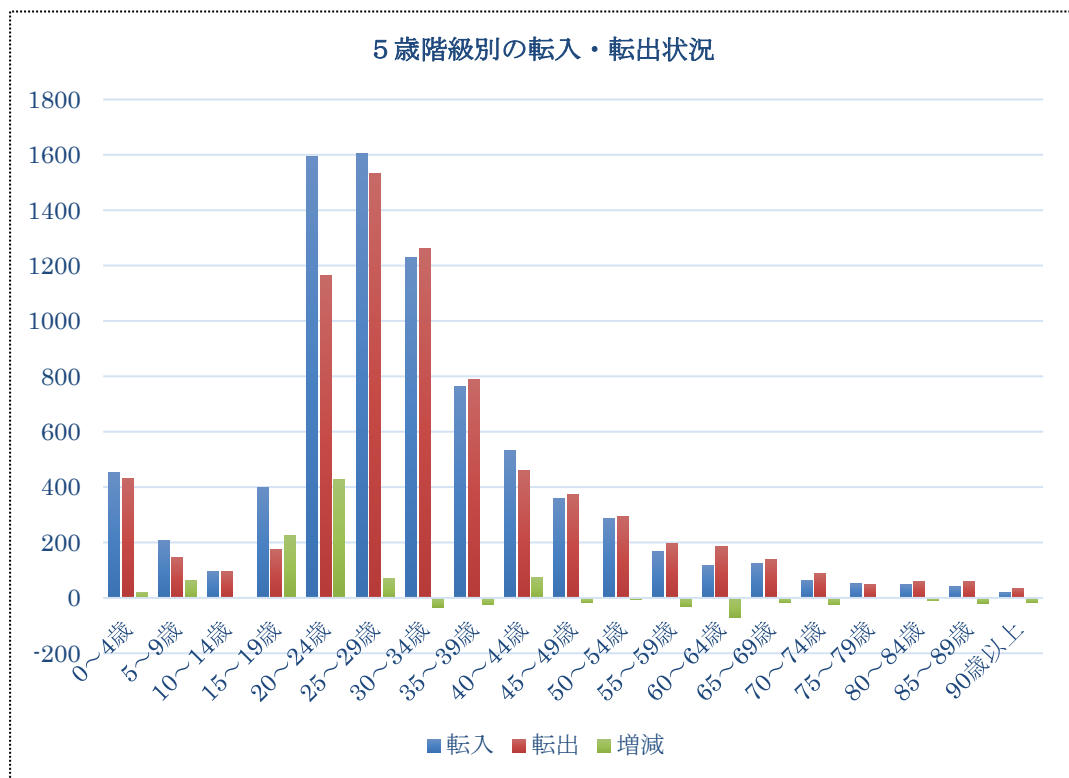
## 2 本市の現状と課題

### (1) 人口動態

本市の人口は過去10年においても増加していますが、過去20年間ににおいては老年人口の増加が顕著で、平成27年時点での高齢化率は約20%となっています。また、将来人口についての3つのパターンの推計比較では、国立人口問題・社会保障研究所の推計では平成32年に122,758人、日本創生会議の推計では平成42年に124,459人、第4次小金井市基本構想・後期基本計画における推計では平成35年に120,012人となり、いずれもそれをピークに減少するとしています。(小金井市人口ビジョン(平成28年3月策定)より)

### (2) 転入・転出の状況

転入の状況を年齢別に見ると、若年層である20～34歳の転入が多いことが特徴です。特に20～24歳においては大きく転入超過になっています。一方、転出の状況を見ると25～29歳の転出が最も多く、30歳台では転出が転入を上回っていることが課題です。



出典:東京都住民基本台帳人口移動報告(平成29年)

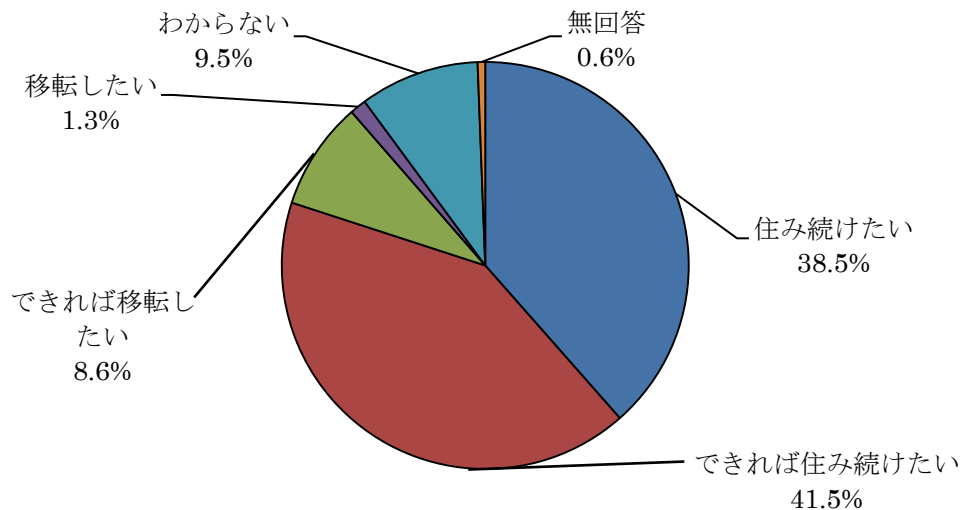
### (3) 定住意向

対象者の異なるそれぞれの調査結果から市民の定住意向を見ると、18歳以上の市民を対象とした調査ではおよそ8割が定住の意向を示していますが、年齢別の集計結果によると、課題に挙げた若年層のうち、定住意向を示したのは7割となっています。本市と連携協力に関する協定を締結している大学・専門学校（6校）の学生を対象とした調査では、市内在住の学生の3割弱しか定住意向を示しておらず、市外在住の学生の転入意向は1割未満となっています。

#### 【調査結果】

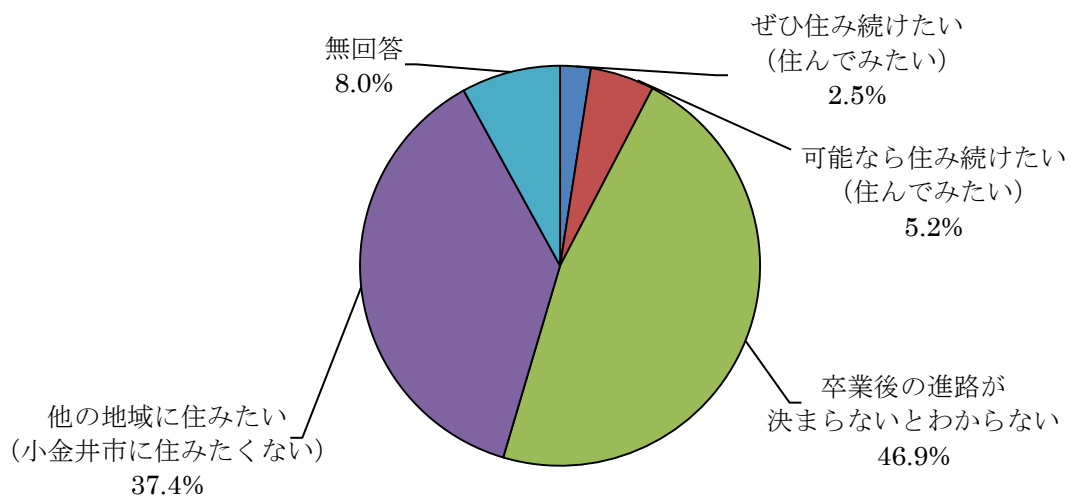
##### ア 市民意向調査

（18歳以上の市民2,000人を対象 [回答数629]、平成30年度実施）



##### イ 学生アンケート

（協力関係にある学校の学生1,400人を対象 [回答数850]、平成30年度実施）



### 3 基本的な考え方

#### (1) ターゲット（誰に）

2の「(2) 転入・転出の状況」で示した表で分かるとおり、30歳台では転出者が転入者を上回っています。また、転入・転出ともに、25～29歳を境に減少する傾向があります。2の「(3) 定住意向」で示した調査結果からは、若年層のほうが定住意向は低い結果となっていました。また、本市及び本市の周辺には大学等が多数ありますが、卒業後の進路が決まらなるとわからないという回答が半数弱を占めているものの、卒業後の定住・転入意向は比較的低い結果となっていました。

これらの結果や、定住を検討し始める年代等を踏まえ、20歳台後半及び30歳台までの若年層をターゲットに、転入の維持と転出の抑制を図ることと、学生に卒業後小金井市に住み続けてもらうための働きかけを行うことにより、生産年齢人口の維持や増加はもとより、将来を担う年少人口の増加を目指していくことが必要と考えます。

#### (2) 内容（何を）

前出の調査アにおける、第4次小金井市基本構想・後期基本計画の4つの柱に関する29項目についての満足度調査では、「みどりと水」の満足度が最も高く、次いで「住宅・住環境」、「道路・河川」が高くなっており、上位3つはいずれも「みどりあふれる快適で人にやさしいまち（環境と都市基盤）」に関するものでした。また、同調査において、「小金井市の良い点や自慢したい点」を尋ねた結果としては、「みどりや水辺などの自然」、「静かで落ちついた住環境」、「多くの大きな公園」に続き、「日常生活に便利で暮らしやすい」、「便利な通勤通学や都心へのアクセス」、「安全・安心な環境」が多く挙げられています。また、前出の調査イにおいて、「小金井市に住んで良かったと思うところ」を尋ねた結果の上位3つは、「生活が便利」、「安全・安心な環境」、「自然環境が良い」となっており、いずれの調査においても、生活の利便性や都心へのアクセス等の都会的要素とみどりや水辺等の田舎的要素とが共存し、“ほどよく都会、ほどよく田舎”であることと、静かで安全・安心な住環境が市民が感じている小金井の長所であるといえます。

これらの結果から、“ほどよく都会、ほどよく田舎”であることを本市の特徴としてPRするとともに、環境に係る取組や安全・安心に係る取組に係る情報等を積極的に周知していくことが、転出の抑制や転入の促進につながってくるものと考えます。

### (3) 発信方法（どのように）

現在本市が行っている情報発信の方法は、市報、ホームページ、ツイッターの主に3つのツールがあり、これに加え必要に応じてパブリシティを行っています。それぞれの特徴をいかして使い分け、あるいは組み合わせて発信します。

市報は、市内全家庭・全事業所に配布されており、全ての市民に情報を発信することができます。しかし、紙面が限られていることから、全てのことを詳細に伝えることはできません。また、発行は月に2回のみであり、編集に1か月程度要することから、突発的な情報の発信には対応できません。

ホームページは、市内のみでなく、市外へも広く情報発信ができます。また、字数制限に縛られることなく、詳しく伝えることができ、写真や表などの活用も可能です。情報を随時更新したり追加したりできることも利点です。

ツイッターは、ホームページとは異なり、フォロワーに対して直接届けることができ、フォロワーの興味をひく内容であれば拡散効果も期待できます。ただし、字数制限があるので、詳細はホームページで補足することを前提とします。写真などを用いて視覚的に訴えたり、ハッシュタグを活用して閲覧を促したりする工夫も必要です。また、同じ内容に関する情報を複数回発信できることも特徴です。

パブリシティは、新聞やテレビを通じて広く世間に情報を発信する方法です。平成28年度にプレスリリースした46件（定例的・形式的なもの等は除く）のうち、取り上げられたものは9件、平成29年度にプレスリリースした31件のうち、取り上げられたものは5件で、記者会見等でPRしたものを含めるといずれの年も十数件が報道されており、報道された場合は、市内外を問わず広く情報発信され、また、報道機関を通じることにより信頼度・関心度を高める効果が期待できます。

#### ◎ こんな情報はこんなツールで！（時期や内容に応じてツールを活用）

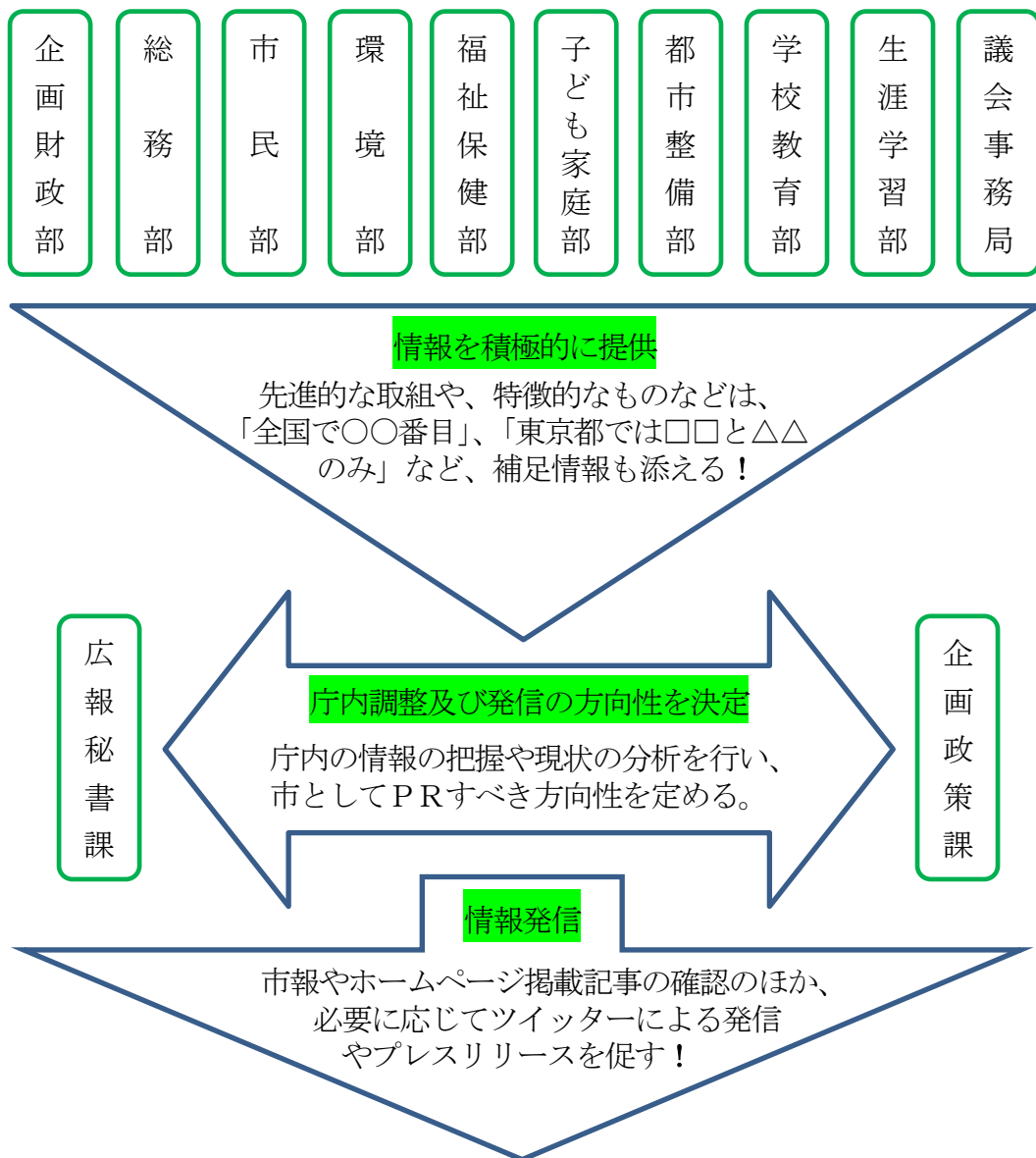
ツール	時 期	内 容
市 報	毎月1日、15日に発行 (原稿提出は約1か月前)	定期的な手続き、制度変更、イベントの開催など広く市民に伝えるべき情報
ホームページ	随時、掲載・更新が可能	市報等で発信した内容に関するさらに詳細な情報 一時的な変更等、随時お知らせすべき情報 イベントや会議の結果等の個別的・追加的な情報
ツイッター	適宜、繰り返して発信	イベントの開催、申込状況など随時変化する情報
パブリシティ	市議会定例会ごとに記者会見を開催、プレスリリース等は随時発信	市内外に広く周知したい情報 他自治体と比べて特徴的な事業や制度に関する情報 市として初めての事例や新たな取組に関する情報



## 4 推進体制

### (1) 庁内の推進体制

シティプロモーションを効果的に推進していくためには、情報源である各部署と庁内調整やPRすべき方向性を定める企画部門及び情報発信を行う広報部門との連携が必要です。「3 基本的な考え方」の(2)において、「豊かな自然環境」・「生活の利便性」・「安全・安心」の3つを発信すべき内容として示したところですが、他にも小金井市の魅力として発信できる内容があれば全庁で共有し、積極的に発信します。新たに始めた取組や他の自治体と比較して特徴的なものなどがあれば、広報秘書課への情報提供を行い、広報秘書課と企画政策課とで連携しながらその情報を集約し、時期や内容に応じて適切なツールによる情報発信を行います。



## (2) 観光大使制度のさらなる活用

本市では、市の魅力を広く市内外に発信してイメージアップを図るとともに、多くの市民が愛着と誇りを持てる市とすることを目的として、小金井市観光大使を設置しています。平成27年12月に12人と1グループ、平成30年1月に8人の方に小金井市観光大使を委嘱しています。観光大使の方々には、市が主催するイベント等に参加していただくほか、御自身の活動の中でも小金井市の魅力をPRしてもらっています。PRしていただく情報は市が提供することとなり、その内容は広報秘書課で作成しています。観光大使の方々をイベント等に行き来していただくことはもちろんのことですが、御自身の活動の中でPRしてほしい情報を積極的に提供することも、この制度の活用の仕方の一つです。

## (3) 関係団体との連携

観光まちおこし協会や商工会、大学や研究機関など、市内にある関係団体とも積極的に情報の交換・共有を行い、連携して小金井市の魅力を発信します。小金井阿波おどり、小金井桜まつり、黄金井名物市、小金井薪能など、市内関係団体等が主催・共催するイベント等により小金井市の魅力を高めてもらう一方、市としてもそれらに関する情報を把握し発信することで連携を図ります。

また、大学等との連携は、ターゲットである若年層が魅力に感じていることや、より伝わりやすい発信方法を知る上で、とても有効であると考えます。包括的な連携協力関係のもと、情報発信について連携を深めていく必要があります。

## (4) 市民との連携

シティプロモーションの推進は、行政や関係団体のみでなく市民とも連携し、オール小金井で取り組む必要があります。小金井を好きな市民、小金井の魅力をよく知っている市民はたくさんいます。その好きなところや様々な魅力を身近な人や来訪者、あるいは訪問先で出会った人などに紹介してもらうことで、小金井の魅力が大きく広がっていきます。

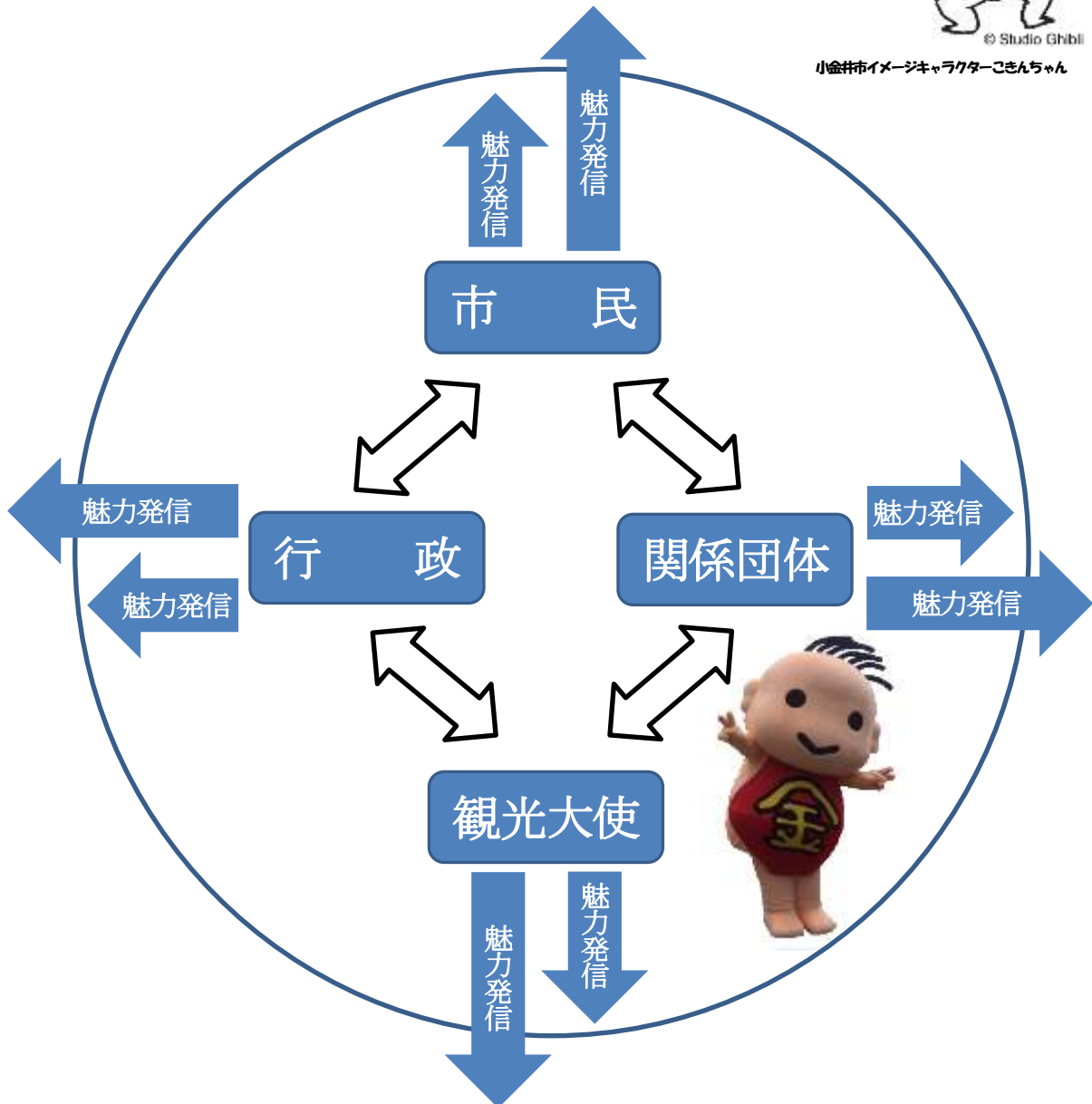
また、さらなる推進を目指すには、市内、特に小金井の魅力をよく知らない人へも情報を発信し、地域の魅力を再認識することにより、小金井に誇りや愛着を持ってもらうと共に、市民一人一人に小金井をより良いまちにしようと思ってもらう、いわゆるシビックプライド（P. 10 シビックプライドの重要性）の醸成も必要となってきます。

(5) 小金井市イメージキャラクター「こきんちゃん」の有効活用

平成20年に市制施行50周年を記念して生まれた「こきんちゃん」には、制作者である小金井市名誉市民の宮崎駿氏の「子どもが元気な町が発展するんです。」という思いが込められています。ターゲットである若年層は、子育て世代または近い将来子育て世代になる可能性がある年齢層でもあることから、「こきんちゃん」とともに、「子どもが元気なまち」「子育てしやすいまち」をPRすることも効果的です。



© Studio Ghibli  
小金井市イメージキャラクターこきんちゃん



◎ オール小金井でシティプロモーションを推進  
本市のイメージキャラクターである「こきんちゃん」も有効活用し、市民・関係団体・観光大使・行政が連携して市内外へ魅力を発信します。

(6) シビックプライドの重要性

シビックプライドとは、都市に対する誇りや愛着を意味しますが、単なるまち自慢や地元への親近感ではなく、自分自身が都市を構成する一員であると自覚し、都市をより良くするための取組に関わろうとする当事者意識を伴うものです。

シビックプライドを醸成することにより、市外への転出を少なくするとともに、シビックプライドを持った市民一人一人の活動により小金井市がさらに住み良いまちとなっていくことが期待できます。

(7) 小金井市のブランドメッセージ

数ある自治体の中から選ばれるまちとなるためには、他の自治体との差別化を図ることも重要です。そこで必要となるのが小金井市のイメージを定着させるためのブランドメッセージです。ターゲットである若年層の多くは子育て世代でもあることから、本市が目指す「子育て環境日本一」につながるようなイメージが有効と考えます。

前出の調査アにおいて、「小金井市のアピールできる「もの」や「ところ」」を尋ねた結果としては、「多くの大きな公園」に関する意見が最も多く挙げられ、前出の調査イにおいて、「小金井市と聞いてイメージするもの（こと）」を尋ねた結果としては、「公園」に続き、「学校がある」という意見が多く挙げられました。複数の大きな公園があり“子どもの遊び場に恵まれている”ことや、市内及び近隣に大学や高校が多数あり“教育環境が充実している”ことは、小金井市の大きな特徴であり、子育て世代に対する大きなアピールポイントといえます。

そこで、遊び場と学びの場が充実した環境で子育てできるまちをイメージさせるものとして、たとえば、“遊べる、学べる、小金井市”など、小金井市のブランドメッセージについても検討していきます。

(8) シティプロモーションにおける今後の展開

現状においては、情報源である各部署と庁内調整やPRすべき方向性を定めて情報発信を行う企画部門及び広報部門とが連携してシティプロモーションを推進していく体制を示していますが、今後より戦略的・継続的に推進していくためには、シティプロモーションのノウハウや情報の集積を行う専門部署を新設し、各部署からの情報提供に頼らず積極的に情報収集を行うことや、状況の分析及びより効果的に発信するための戦略を立てること、既存のツールを活用することにとどまらず状況に応じた様々な発信の方法を取り入れていくことも必要であり、

今後の組織機構の改革における課題です。

今回策定した基本方針では、市民が小金井市に誇りと愛着を持ち、対外的にも小金井市が認知され、市内外から「選ばれるまち」となるために、当面進むべき方向性を示しましたが、この方向性に沿って、小金井市にある様々な地域資源の魅力発信を行いつつ、さらに検討を加え、小金井らしいシティプロモーションを展開したいと考えています。

#### (9) 評価指標と数値目標

今回策定した基本方針は、第4次小金井市基本構想及び小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいて策定したものであることから、現時点においては、第4次小金井市基本構想の将来像実現を測る基本的な指標とされている「小金井市の住みやすさの向上」と「小金井市に住み続けたいと思う市民の割合の増加」、小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げている「市内滞在人口の1日平均人数の増加」と「市内3駅の乗客数の増加」を共通の評価指標と数値目標とし、ターゲットとした若年層、特に20歳台後半及び30歳台の転入の維持と転出の抑制を個別の目標として、その人口の増加を当面の評価指標と数値目標とします。

評価指標と数値目標については、今後の展開の中において、第5次小金井市基本構想の策定を踏まえつつ見直しを図っていきます。

## 5 資料編

### (1) 「平成30年度 小金井市市民意向調査」集計結果（抜粋）

対象者：18歳以上の市民 2,000人

回答者数：629人（回答率 31.5%）

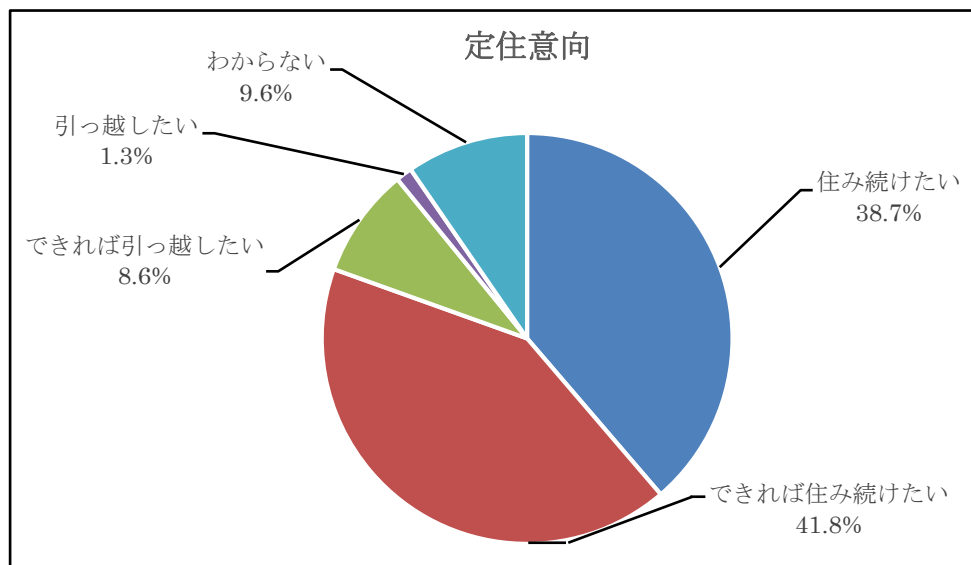
#### ● 小金井市の住み心地やイメージ等について

##### ・ 小金井市の住み心地について（問1）

住みやすい	230人	(36.6%)
どちらかといえば住みやすい	301人	(47.9%)
やや住みにくい	53人	(8.4%)
住みにくい	10人	(1.6%)
どちらともいえない	28人	(4.5%)

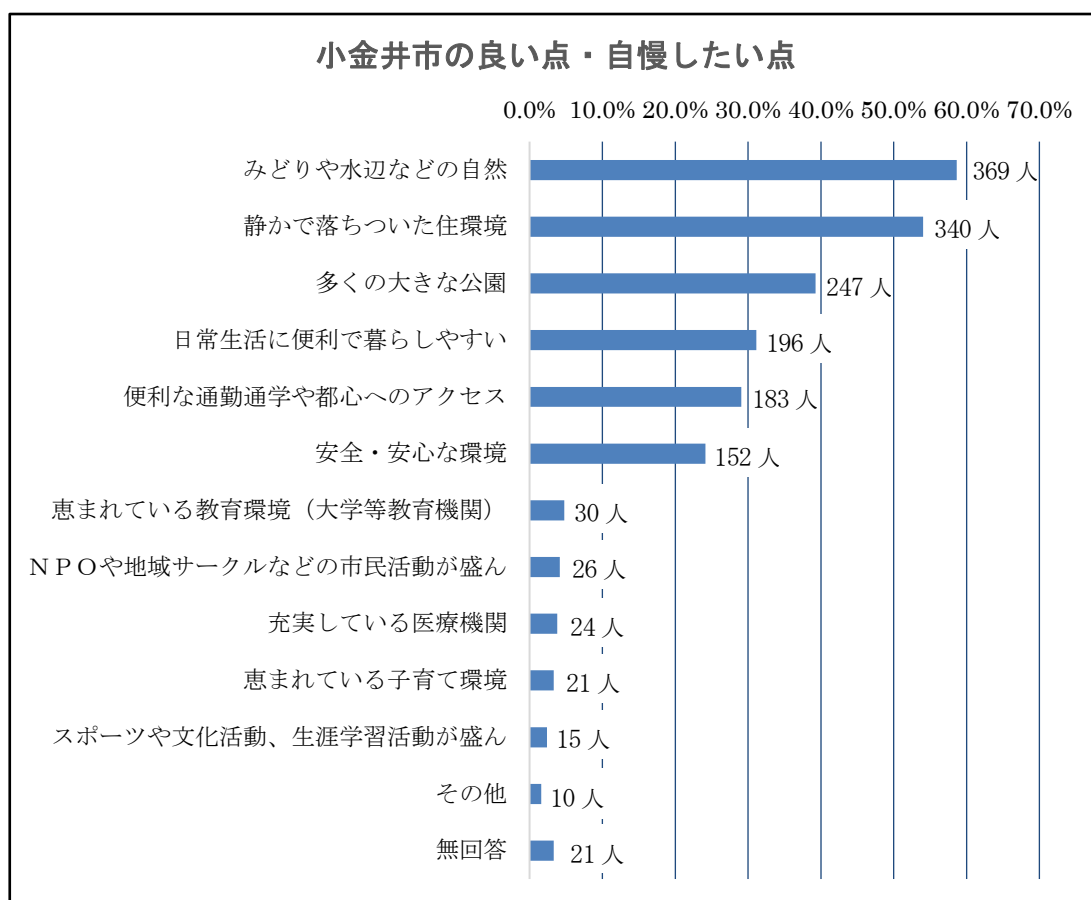
##### ・ 小金井市に住み続けたいと思うか（問2）

住み続けたい	242人	(38.5%)
できれば住み続けたい	261人	(41.5%)
できれば引っ越したい	54人	(8.6%)
引っ越したい	8人	(1.3%)
わからない	60人	(9.5%)



・ 小金井市の良い点や自慢したい点（問3(1)） ※ 複数回答あり

みどりや水辺などの自然	369人 (58.7%)
静かで落ちついた住環境	340人 (54.1%)
多くの大きな公園	247人 (39.3%)
日常生活に便利で暮らしやすい	196人 (31.2%)
便利な通勤通学や都心へのアクセス	183人 (29.1%)
安全・安心な環境	152人 (24.2%)
恵まれている教育環境（大学等教育機関）	30人 (4.8%)
NPOや地域サークルなどの市民活動が盛ん	26人 (4.1%)
充実している医療機関	24人 (3.8%)
恵まれている子育て環境	21人 (3.3%)
スポーツや文化活動、生涯学習活動が盛ん	15人 (2.4%)
その他	10人 (1.6%)
無回答	21人 (3.3%)



・ 小金井市のアピールできる「もの」や「ところ」(問3(2))

[自由意見を以下の12項目に分類して集計]

多くの大きな公園	259 件
みどりや水辺などの自然	241 件
スポーツや文化活動、生涯学習活動が盛ん	64 件
日常生活に便利で暮らしやすい	32 件
静かで落ちついた住環境	29 件
恵まれている教育環境(大学等教育機関)	22 件
安全・安心な環境	17 件
便利な通勤通学や都心へのアクセス	16 件
恵まれている子育て環境	15 件
NPOや地域サークルなどの市民活動が盛ん	9 件
充実している医療機関	3 件
その他	46 件

・ 希望する30年後のまちのイメージ(問4)

[自由意見を以下の15項目に分類して集計]

自然にあふれたまち	175 件
多世代が暮らせるまち	53 件
子育て環境の充実したまち	46 件
くらしやすい便利なまち	45 件
商業の充実したまち	35 件
道路・施設が整備されたまち	33 件
文化面が充実したまち	30 件
安全・安心なまち	28 件
ごみ問題の解決	26 件
福祉の充実したまち	22 件
駅前の再開発が進んだまち	20 件
今のままでよい	15 件
景観を重視したまち	8 件
住みたい街ランキング上位のまち	6 件
笑顔あふれるまち	5 件
その他	49 件



● 広報活動について

・ 小金井市の情報の入手手段（問8） ※ 複数回答あり

市報	560人	(89.0%)
回覧板	163人	(25.9%)
家族、友人	102人	(16.2%)
市のホームページ	97人	(15.4%)
市民掲示板	83人	(13.2%)
広報掲示板	52人	(8.3%)
町会や自治会、民生委員	32人	(5.1%)
市の窓口、市職員	16人	(2.5%)
市のtwitter	9人	(1.4%)
その他	13人	(2.1%)
特に入手していない	54人	(8.6%)

・ 「市報こがねい」を読んでいるか（問9）

よく読んでいる	152人	(24.2%)
ざっと目を通す	299人	(47.5%)
必要なところだけ読む	82人	(13.0%)
ほとんど読んでいない	46人	(7.3%)
まったく読んでいない	39人	(6.2%)

(2) 「学生アンケート」集計結果（抜粋）

対象者：小金井市と連携協力関係にある学校（亜細亜大学、総合学院テクノスカレッジ、東京学芸大学、東京農工大学、法政大学、武蔵野大学）の学生 計 1,400人

回答者数： 850人（回答率 60.7%）

● 住みやすさについての設問

設問1 現在の住まいについて

小金井市に住んでいる方 73人（8.6%）

（うち、通学のために転入した方 61人）

小金井市に住んでいない方 753人（88.6%）

（うち、通学のために他市へ転入した方 207人）

無回答 24人（2.8%）

設問2 小金井市に住もうと思った理由

1位 生活が便利 15人（24.2%）

2位 学園都市 8人（12.9%）

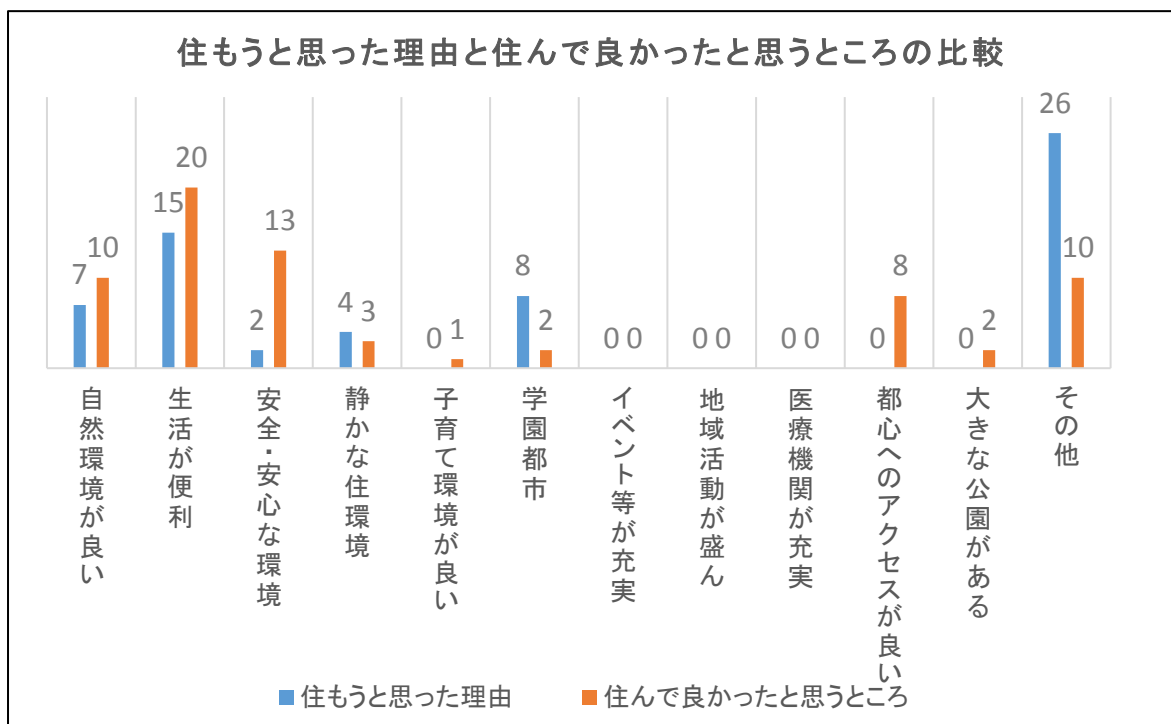
3位 自然環境が良い 7人（11.3%）

設問3 小金井市に住んで良かったと思うところ

1位 生活が便利 20人（29.0%）

2位 安全・安心な環境 13人（18.8%）

3位 自然環境が良い 10人（14.5%）



設問4 小金井市に転入しなかった理由

小金井市より住みたい市があった 107人 ( 14.2% )

(今住んでいる所のほうが良い点があった)

【他地域の長所として主な意見】

- ・学校に近い (36人)、交通の便がよい (26人)
- ・家賃が安い (15人)、ごみ出しが無料 (1人)
- ・店が多くある (4人)、栄えている (3人)、生活が便利 (1人)

小金井市に住みたくなかった 11人 ( 1.5% )

(小金井市は今住んでいる所より良くない点があった)

【他の地域と比べた短所として主な意見】

- ・交通の便がよくない (2人)、学校から遠い (1人)
- ・家賃が高い (2人)
- ・利便性がよくない (2人)
- ・坂が多い (2人)

通学に伴う引越しはしていない 557人 ( 74.0% )

(引っ越す必要がなかった)

設問5 卒業後、小金井市に住み続けたい (住んでみたい) と思うか。

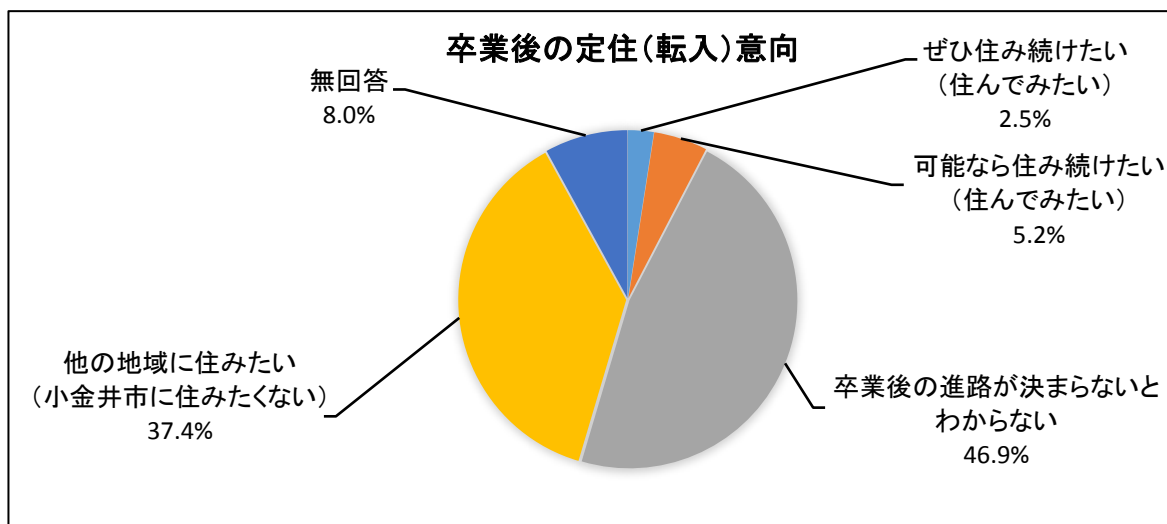
ぜひ住み続けたい (住んでみたい) 21人 ( 2.5% )

可能なら住み続けたい (住んでみたい) 44人 ( 5.2% )

卒業後の進路が決まらなるとわからない 399人 ( 46.9% )

他の地域に住みたい (小金井市に住みたくない) 318人 ( 37.4% )

無回答 68人 ( 8.0% )



【住みたいと答えた主な理由】

- ・住みやすい (8人)、住み慣れている (4人)、現状に満足 (2人)
- ・交通の便がよい (5人)、学校に近い (4人)、都心に近い (3人)

【住みたくなないと答えた主な理由】

- ・実家・地元・今住んでいる所に住みたい (92人)、引越したくない (17人)
- ・就職先が遠い (34人)、交通の便が悪い (11人)、都会に住みたい (10人)
- ・小金井のことをよく知らない (14人)、魅力を感じない (7人)

設問6 他の地域と比べた小金井市の良いところ、悪いところ

(1) 良いところの主な意見

- ・自然環境・住環境に関するもの (246人)  
〔自然が豊か、緑が多い、静か、公園がある、駅・駅周辺がきれい〕

---

- ・生活の利便性に関するもの (75人)  
〔店が多い (スーパー、コンビニ等)、駅周辺が栄えている〕

---

- ・交通アクセスに関するもの (68人)  
〔バスが多い、中央線が通っている、始発・終電がある〕

---

- ・立地に関するもの (39人)  
〔都心に近い、大学に近い、吉祥寺に近い〕

---

- ・安全・安心に関するもの (32人)  
〔治安がよい、安心感がある、平和〕

---

(2) 悪いところの主な意見

- ・生活の利便性に関するもの (87人)  
〔遊び場・娯楽施設がない、大型商業施設・ショッピングモール等がない〕

---

- ・自然環境・住環境に関するもの (71人)  
〔坂が多い・長い・きつい、田舎 (都会でない)、自然・緑が少ない〕

---

- ・交通アクセスに関するもの (53人)  
〔中央特快等がとまらない、小金井公園へのアクセスが悪い〕

---

- ・インフラ整備に関するもの (46人)  
〔道が狭い、信号が長い・多い、道が混んでいる〕

---

- ・ごみ処理に関するもの (28人)  
〔処理が有料、分別が大変、焼却場がない〕

---

● 広報についての設問

設問1 小金井市と聞いてイメージするもの(こと)

関心がないのでわからない 607人 (76.0%)

【イメージの主なもの(こと)】

- ・小金井公園(40人)、公園(4人)

---

- ・学校がある等(大学・学校:14人、東京学芸大学:9人、東京農工大学:4人、法政大学:4人、総合学院テクノスカレッジ:4人、武蔵野大学:1人)

---

- ・こきんちゃん(12)

---

- ・駅(武蔵小金井駅・ムサコ:7人、東小金井駅:2人、駅がでかい:1人、似た名前の駅が多い:1人)

---

- ・桜(桜:6人、桜まつり:2人、小金井桜1人)

---

- ・緑、緑が多い、緑が豊か等(8人)

---

- ・自然(6人)、武蔵野の自然(1人)

---

- ・田舎(3人)、静か(3人)

---

- ・時計(2人)、時間(2人)、情報通信機構(2人)

---

- ・スタジオジブリ(ジブリ:3人、宮崎駿監督:2人)

---

- ・江戸東京たてもの園(3人)

---

- ・友人の家(2人)、おばあちゃん家(1人)

---

- ・その他(各1人)  
いなげや、安全、西岡市長、こどもが多い、水、ごみ袋が高い、あつい、便利、ドン・キホーテ、教育機関が充実、次男坊、子育て環境が良い、道が広い、ピンクのバス、都会の横、おだやか、人がやさしい、23区外、多摩地区、小金井街道、ベッドタウン、平和、森林、普通、都会、終点、湧き水、野菜、東八道路、チェーン店が多い、さくら体操、二枚橋焼却場、爬虫類が売られている、府中運転免許試験場、イトーヨーカドー、遠い、府中のとなり、交番が多い

---

設問2 小金井市の情報の入手手段

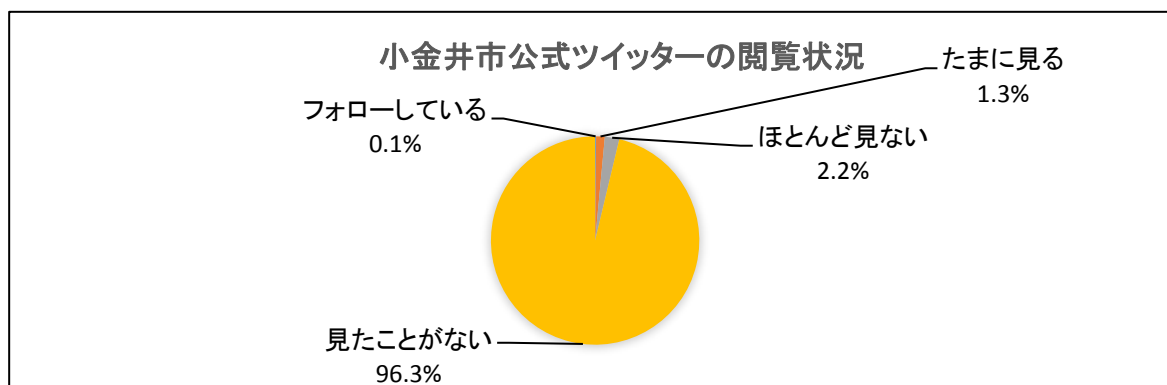
小金井市報	12人 (1.5%)
ホームページ	27人 (3.4%)
ツイッター	14人 (1.8%)
掲示板	10人 (1.3%)
家族・友人から聞く	84人 (10.5%)
関心がない	675人 (84.4%)

### 設問3 ツイッターの活用状況

アカウントを持っている 466人 ( 57.5% )  
必要に応じて見るだけ 174人 ( 21.5% )  
まったく使わない 170人 ( 21.0% )

### 設問4 小金井市公式ツイッターの閲覧状況

フォローしている 1人 ( 0.1% )  
たまに見る 9人 ( 1.3% )  
ほとんど見ない 15人 ( 2.2% )  
見たことがない 644人 ( 96.3% )



### 設問4-2 小金井市公式ツイッターを見ない理由

おもしろい記事がない 2人 ( 0.3% )  
小金井市に関心がない 75人 ( 11.4% )  
あることを知らない 580人 ( 88.3% )

### 設問4-3 どんな内容の記事なら見るか

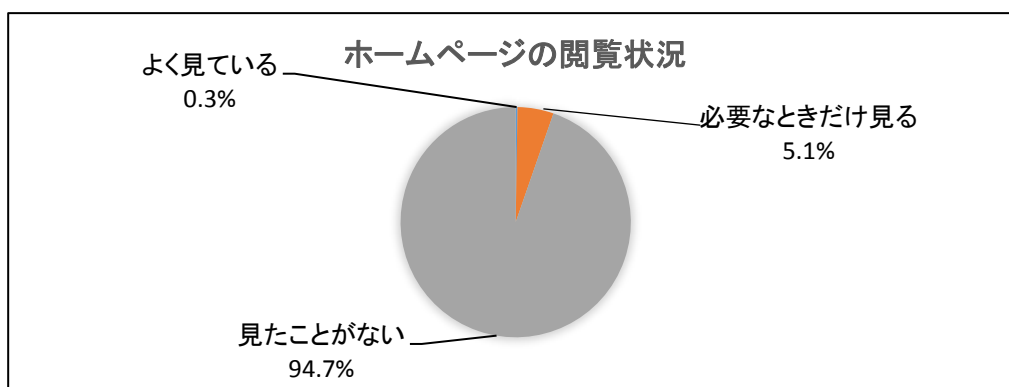
- ・イベントの情報 (イベント、行事、お祭り等)
- ・お店の情報 (おいしい店、お勧めの店、割引・セール情報等)
- ・地域の情報 (小金井の魅力・特徴、地域のニュース等)
- ・生活の情報 (災害・天気、交通機関等)
- ・場所 (穴場、観光スポット、インスタ映えする場所等)

### 設問4-4 ツイッターの改善点

- ・もっと周知する。知名度を上げる。
- ・内容をもっと面白くする。
- ・アピール・インパクトを強くする。
- ・話題になることやイベントを通じて拡散する。
- ・写真を増やす。固くない文章にする。若者にも親しみやすくする。

### 設問5 小金井市ホームページの閲覧状況

よく見ている	2人	( 0.3% )
必要なときだけ見る	40人	( 5.1% )
見たことがない	747人	( 94.7% )



### 設問5-2 どんなときに見るか

- ・図書館、自転車駐車場、その他市の施設を利用するとき。
- ・学校の授業、研究、レポート等で必要なとき。
- ・市役所の手続き等で必要なとき。ごみの出し方を見る時。
- ・イベント情報を見たいとき。
- ・災害時。

### 設問5-3 ホームページの見やすさ

見やすい	34人	( 94.4% )
見やすすくない	2人	( 5.6% )

#### 【改善点】

- ・大学生にも分かりやすい言葉だといい。
- ・トップページから知りたいページまでたどり着きづらい。
- ・ツイッターのアカウントも載せてはどうか。
- ・更新日が古い情報を信頼してよいのか不安になる。

### (3) 小金井市のPR資源

#### ア 各分野で実施している特徴的な施策等

小金井市には、特徴的なものや自慢できることがたくさんありますが、他の部署が所管しているもの（こと）は意外と知らないものです。これらの情報を全庁で共有し、シティプロモーションに活用しましょう。

#### ●環境と都市基盤

施策等の名称	内容（特徴）
雨水浸透施設設置事業	湧水を維持するための取組として、雨水の下水道管への流入を軽減し、地下水浸透を促している。
クリーン野川作戦	小金井市民の宝物である野川をきれいにするため、毎年、市民の皆さんと清掃を行っている。その他のプログラムとして、水生生物・植物の観察や環境に関する展示なども行っている。
環境フォーラム	市民の環境意識の高揚を図るため、講演・展示・映像など様々な形で実施している。環境配慮住宅型研修施設（環境楽習館）を会場とし、体験に主眼を置いた催しを重視している。

#### ●地域と経済

施策等の名称	内容（特徴）
創業支援事業	SOHO・インキュベーション施設である東小金井事業創造センター（K-O-T-O）で相談窓口を実施するほか、民間事業者、地域金融機関、商工会等と連携し、創業塾や創業セミナーを実施している。
小金井市消防団出初式	小金井市消防団の規律統制が取れた部隊行動を通じ、市民の消防防災に対する認識を深め、防火防災思想の普及に寄与することを目的としている。市の中心地であるJ R武蔵小金井駅南口交通広場で実施することで啓発効果を高めている。
こきんちゃんあいさつ運動	「こころをこめて・近所のひとたちと・ちゃんとあいさつしよう」を合言葉に、さわやかなあいさつが飛び交うまちにする取組。あいさつを通して多くの人々が地域に目を向けることにより、子どもたちの安全確保、地域の防犯力の向上を図っている。

#### ●文化と教育

施策等の名称	内容（特徴）
自校方式の学校給食	学校の調理室でつくっているため、温かくておいしい給食を提供できている。食育に関連した献立やバイキング給食など学校ごとの取組みを行っている。また、小金井産野菜を活用し、地産地消を進めている。
小金井平和の日記念行事	3月10日を「小金井平和の日」と定め、その日を中心とする日に、作文コンクールや講演会、平和音楽会などを実施し、平和意識の高揚を図っている。



●福祉と健康

施策等の名称	内容（特徴）
小金井さくら体操	平成21年度にできたご当地介護予防体操。体操は市内約50か所の会場で行われており、年間延べ約20,000人の方が参加している。高齢者に広く浸透し、高齢者の健康づくり・地域とのつながりに貢献している。
Koganei-Style（小金井市の食育情報サイト）	「野菜」、「団らん」、「ふれあい」、「環境」をキーワードに、「小金井らしい食生活」のあるひとづくり・まちづくりを“Koganei-Style”として地域展開を図っている。サイトの運営は、市民ボランティアによる食育ホームページ編集委員会
移動式赤ちゃん休憩室	市内で開催されるイベントに赤ちゃんを連れて安心して参加できるよう、おむつ交換及び授乳を行うための移動式テント（「移動式赤ちゃん休憩室」）を希望する団体に無料で貸し出している。
小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会	子育て活動団体と市との協働により、「脱 孤育て・孤育て～地域で子どもを育てる取組～」をミッションに設立し、地域の子育て、子育て環境の充実を図っている。
子育てメッセこがねい	「小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会」が企画運営して毎年開催。子どもに関わる団体の活動展示、子ども用品交換会、支援者交流会などが行なわれる。
のびのびーの（小金井子育て・子育て支援サイト）	「小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会」による、小金井市の子育て・子育てに役立つ情報を集めたサイト。
「みんなで子育て応援ブック のびのびこがねいっ子」	子どもの成長に沿って覚えておきたい身近な情報や子ども関係の施設等を紹介する総合冊子。市民参加により作成しており、行政情報だけでなく、民間団体の情報も掲載している。
子ども家庭支援センター 子ども遊びひろば「ゆりかご」	子育ての応援をするためのみなさんの居場所。小さなお子さんやお母さん、お父さんが自由に遊んだり、おしゃべりできるひろば。子育て講座、子育て情報の提供、地域支援と子育て支援ネットワークなどの活動も実施している。
小金井市愛育手当	インターナショナルスクールや屋外保育園等公的補助のない無認可保育施設又は児童発達支援センターに在籍する児童の保護者に月額7,300円を支給するという多摩地区でも類を見ない制度。子育て世帯の経済的負担を緩和している。
保育所等入所相談支援事業	保育所等への入所についての情報提供、相談及び助言を行う。関係機関との連絡調整を実施し、保護者の子育て支援体制を構築している。
学童保育の全入堅持	全ての職員が放課後児童支援員の資格を有しており、能力と経験に裏打ちされた質の高い保育を実施している。また、全対象児童の受入れを目標としており、現状維持できている。
プレーパーク（冒険遊び場事業）	子どもが自由な発想で、自由に遊べる場所。プレーリーダーが見守る。東京学芸大学構内で週4日（火～木・土曜）、武蔵野公園内くじら山付近で週1回（金曜）開催。ハイジブランコやターザンロープ、ドラム缶コンロなどが設置され、泥遊びやザリガニ採りもできる。

施策等の名称	内容（特徴）
児童館夜間開館事業	中・高生世代を対象とした自由参加の夜間開館（20時まで）。 「プレイスHIGAJI」（東児童館：水曜）及び「スペース@ヌクイ」（貫井南児童館：金曜）
貫井南児童館バンドスタジオ	市内在住・在学の中高生が無料で練習できる防音設備。ドラムセット・マイク・アンプ・キーボードが完備されている。
じどうかんフェスティバル	平成21年に制定した「子どもの権利に関する条例」を受けて、「意見を表明する権利」の実現の場として「じどうかんフェスティバル」を開催。子どもたちがダンスや歌の発表を行ったり、自分たちで考えたお店を自分たちで運営したりする。
移動児童館「わんぱく号」	毎月第3土曜日（7・8・10月を除く）に武蔵野公園くじら山周辺の原っぱに開設。幼児・小学生・中学生を対象に行われる野外事業。内容は毎回異なる。事前申込は不要、無料で参加できる。

### ●計画の推進

施策等の名称	内容（特徴）
小金井市観光大使	市のイメージアップを図り、市民が愛着と誇りを持てる市とするため、文化、スポーツ、芸能等の様々な分野で活躍する方々に市のPRをしてもらっている。現在は、20人と1グループに委嘱している。
小金井市イメージキャラクターこきんちゃん	市制施行50周年を記念して市の名誉市民でもあるスタジオジブリの宮崎駿監督が制作した小金井市イメージキャラクター。「子どもが元気な町が発展するんです」という制作者のメッセージがこめられている。
小金井市歌 小金井市民愛唱歌	市制施行60周年を記念し、内外に向け小金井市のイメージアップを図るとともに、小金井市への親近感や愛着の高まりを醸成することを目的とし、小金井市歌「光さす野辺」と、小金井市民愛唱歌「夢みる町」を、市制施行日である10月1日に制定した。市民の皆さんから募集した詞のアイデアを基に、作家の林望さん（小金井市観光大使）が作詞を担当。「ふるさと小金井」を感じられる歌が制作された。
プロモーションビデオ	市制施行60周年を記念して、市の魅力を発信する動画を作成。作成を担当したのは東京工学院専門学校放送芸術科の学生、各テーマ（歴史・文化、自然・環境、賑い・産業）に添ったドラマ仕立ての動画3本とダイジェスト版の計4本から構成。映画監督の深田晃司さん（小金井市観光大使）による講評と合わせて動画サイトで公開している。

## イ 名所・イベント等

人が集まる所といえば、やはり名所やイベント。市有地、市主催事業に限らず、小金井市にあるもの・行なわれるものはできる限り共有し、PRしてください。

### ●名所

場所・施設等	説 明
小金井 宮地楽器ホール (小金井市民交流センター)	音の広がり豊かにする音響反射板を可動式にすることで、コンサートホール形式とプロセニウム形式の2つの舞台機構を持たせた大ホール、自由な空間アレンジが可能な平土間式の小ホール、様々なアート作品が展示できる市民ギャラリーのほか、練習室や和室などがあり、文化芸術活動の拠点として、広く活用されている。
小金井市立はげの森美術館	大正から昭和にかけて活躍した洋画家、中村研一が後半生を過ごした地に建つ美術館。基本コレクションとなる中村研一の作品を紹介する所蔵作品展のほか、美術館の企画による特別展を年に数回開催している。湧水と豊かなみどりに囲まれた所であり、自然も満喫できる。
小金井市文化財センター	市内から発見された考古資料・古文書・民具等の文化財を保存・展示しており、身近な郷土の歴史を学べる施設。建物は、青年団講習所として使われていた「浴恩館」と呼ばれる由緒あるもので、市の史跡に指定されている。施設が立地する浴恩館公園には、落葉樹が多く、季節ごとに趣が変わる。また、市の天然記念物に指定されているツツジ郡もある。
環境楽習館	雨水の循環や風を使った気化熱、太陽熱など自然のエネルギーをそのまま冷暖房に利用する技術を取り入れて、CO <sub>2</sub> 排出ゼロを達成する、環境配慮住宅型のモデルハウスとしての機能を持つ研修施設。環境関連の会合・研修場所として貸し出すほか、環境学習イベントの開催場所として活用。随時施設見学も受け付けている。
滄浪泉園	「はげと湧水」をたくみに取り入れた由緒ある庭園。武蔵野の面影をとどめ、野鳥の鳴き声が一年中絶えることなく、池にはカモ等も飛来する。野鳥のためのバードバスや、水面に落ちる水滴の音が空洞で共鳴する水琴窟もある。
三楽の森	国分寺崖線の上にある公共緑地。武蔵野の面影を色濃く残した豊かな自然が保全されていて、貴重な植物のほか、野鳥や昆虫などたくさんの「生き物」が見られる。
玉川上水	武蔵野の新田開発に大きな役割を果たした上水路。玉川上水からの分水路がこの周辺の農家の畑のそばを流れ、農業生活に欠かせない水源となっていた。玉川上水沿いの桜並木や緑道は、散策路として親しまれており、茜屋橋、貫井橋、小金井橋、陣屋橋、新小金井橋、平右衛門橋、梶野橋など歴史に因んだ数々の橋が架かっている。
野川	小魚、ザリガニなどの水生生物の他、飛来する野鳥、川沿いに咲くシダレザクラ等の植物などがあり、水遊びとともに様々な自然が観察できる。周辺には大きな都立公園もあり、家族連れで賑わっている。

はげ（国分寺崖線）	古多摩川が氷河期に武蔵野台地を削ってできた崖で、二枚橋の坂、みはらし坂、ムジナ坂、観音坂、おお坂、白伝坊の坂、車屋の坂、金蔵院の坂、妙貫坂、質屋坂、なそい坂、念仏坂、平代坂、弁車の坂、荒牧坂、さわらび坂、三楽の坂、くらぼね坂など多くの坂がある。この崖地を地元では昔から「はげ」と呼んでおり、金蔵院前から二枚橋に通じる「はげの道」は、大岡昇平の小説『武蔵野夫人』の舞台として広く知られている。
黄金の水	宝永四年六地蔵の境内にある地下水を汲み上げた井戸。まちおこしの一環として商店街の協同組合が掘り当てたもので、都内では数少ない、食品衛生法上「飲んで大丈夫」な井戸水。登録料500円（蛇口を購入）でいつでも自由に利用できる。
小金井江戸の農家みち	農家の庭先の直売所が10軒ほど点在する、五日市街道から一本北側（都立小金井公園寄り）の静かな細い道。季節ごとに直売所に並ぶもの（採れたての野菜、果物、花、苗）も違えば、直売所の大きさもいろいろ。通りを歩いていると農家屋敷や蔵、畑、屋敷林、生垣などに出会い、また野菜を選んでいると農家の方や近所の方が話しかけてくれることもあり、沿道の風景、人や野菜との出会いを楽しみながふのんびり歩くことができる。
都立野川公園	豊かな水とみどりに恵まれた野趣に富む公園。公園の北側に沿って国分寺崖線があり、崖下からは地下水が湧き出している。四季折々の野草や野鳥、昆虫などが見られ、自然の宝庫となっている。
都立武蔵野公園	野川に沿って残る草原や雑木林を配した野趣に富む公園。東京都の各公園や街路に植える苗木を育てる苗圃をもち、散歩しながら木々の育成の様子を観察できる。
都立小金井公園	玉川上水沿いに位置した、面積約80ヘクタールの広大な公園。様々な種のサクラが約1700本植えられ、花見の名所として知られている。園内には、梅園、多目的広場、サイクリングコース、SL展示、各種運動場などがある。
江戸東京たてもの園	歴史的建造物を移築し展示している野外博物館。都が指定した文化財や市が指定した文化財もあり、江戸前期から昭和中期までの日本建築や時代ごとの生活を楽しく学べる。また、多摩地域の歴史などに関する特別展も開催している。
国立研究開発法人情報通信研究機構	情報通信分野を専門とする、国内唯一の公的研究機関。センシング基盤分野、統合ICT基盤分野、データ利活用基盤分野、サイバーセキュリティ分野、フロンティア研究分野の5つの分野における研究が行われている。また、日本標準時を決定・供給・維持する役割を担っており、日本標準時は小金井発、小金井は時が生まれるまちでもある。
東京農工大学科学博物館	養蚕をはじめ繊維の素材や道具類、繰糸機や織機といった機械の展示など、繊維分野を中心とする科学博物館。大型の繊維機械が実際に動くようすや養蚕・製糸・機織が描かれた珍しい浮世絵コレクションなども見ることができる。大学の業績や最新の研究活動に関する展示室などもあり、大学教員による子供科学教室なども行われている。

●イベント

イベント名	内 容
小金井桜まつり	サクラが咲きほこる4月上旬頃、都立小金井公園にて開催するお祭り。祭囃子などの小金井市の郷土芸能、和洋伝統音楽・舞踊、ダンスなどの催物が行われるほか、花席・茶席も楽しむことができる。
小金井阿波おどり大会	武蔵小金井駅周辺で毎年7月に行なわれる小金井市の夏の風物詩。地元はもちろん、地元以外からもたくさんの「連」が参加し、様々な阿波踊りが披露され、沿道も多くの人で賑います。
お月見のつどい	中秋の名月に近い土日で都立小金井公園（江戸東京たてもの園前広場）にて開催するお祭り。秋の風情の中で、小金井市の郷土芸能（祭囃子）、和洋伝統音楽・舞踊、草笛、篠笛、武道演武、演劇などの催物が行われる。
小金井なかよし市民まつり	市民の手作りによる秋の祭典。都立小金井公園をメイン会場として、毎年10月中旬に開催。中央ステージでの演劇や演奏等、リサイクルバザー、クラシックカーの展示、出店、などなど、様々な催しが行なわれる。
こがね市	毎月第1日曜日の朝、小金井江戸の農家みちにある大堀ファームで開催。ゆったりとした雰囲気の中に、朝採れ野菜、小金井産のジャムと小金井公園の蜂蜜、シンプルな陶器、菓子、雑貨などが並ぶ。
はけのおいしい朝市	毎月第1日曜日の朝、はけ周辺のお店が集結して開催。天然酵母のパン、かわいい雑貨や個性的な生花、黄金の水で炒れたコーヒーなどを販売。場所は毎回変わるので、事前確認が必要。
黄金井名物市	市内商工業者やその商品を広くアピールするイベントとして、例年6月上旬、武蔵小金井駅南口コミュニティ広場で開催。舞台出演のほか、アトラクションゲームなどのプログラムも行われる。
こがねい十五夜場留	毎年10月の1か月間を場留期間に設定し、市内参加店で飲食や買物をしてスタンプを集めるスタンプラリーイベント。場留スペシャルデーには、各店のおススメ商品が楽しめる。
小金井市農業祭	都市農業の役割を理解してもらうこと、農家の生産意欲や農業技術の向上を目的に、毎年11月に武蔵小金井駅南口コミュニティ広場で開催。野菜で作った宝船の展示や農産物（野菜、果樹、植木等）の品評会のほか、小学生が描いた農業絵画展などが行われる。
小金井薪能	毎年8月に都立小金井公園（江戸東京たてもの園前広場）で開催される夏の風物詩。旧光華殿をバックに特設舞台を組み、能・狂言・創作ダンス等、幽玄な世界が繰り広げられる。
東京大茶会	日本の伝統文化を国内外へ広く発信し、「和の心」を次代に継承するため、毎年10月に江戸東京たてもの園内で開催される秋の風物詩。初心者でも気軽に参加できる本格的な茶席や野点、英語の解説がつく「WELCOME! 英語で楽しむ野点」や、お茶を点てる体験ができる「茶道はじめて体験」などが展開される。
ウォーキングフェスタ東京	都立小金井公園をメイン開場として、毎年ゴールデンウィークに2日間開催。ルートは市内の名所を巡る6キロメートルから本格的な30キロメートルまで幅広く設定され、老若男女問わず誰でも楽しく参加できる。

スポーツフェスティバル	毎年体育の日に開催されるスポーツイベント。シッティン グバレーやボッチャなど、年齢やスポーツ経験、障が いの有無に関わらず、手軽に身体を動かして楽しめる ゲームを行なう。総合体育館、栗山公園健康運動セン ターの無料開放も実施する。
元旦ロードレース	毎年1月1日に都立小金井公園で開催されるマラソン大 会。10kmコース及び5kmコースは、高校生～29 歳、30歳代、40～50歳代、60歳以上の区分で、 3kmコースは小学校4年生～中学生で競い合う。
野川駅伝	毎年1月中旬の日曜日に都立武蔵野公園、野川第二調整 池を会場として開催。小学生、中学生、一般に区分し、 それぞれのクラスで競い合う。
キッズ・カーニバルK O G A N E I	地域の親子が安心して楽しめる場の提供、子育て支援団 体等の活動紹介、一般参加者と各団体との交流・ネット ワーク作りを目的として開催。親子で楽しめるワーク ショップやステージ、外遊びエリアなどがある。
ミステリートレイン	臨時の貸切列車を走らせ、毎年夏休みに小学校高学年を 対象に小金井市子供会育成連合会が実施する行き先ヒミ ツの夜行列車で向かう1泊2日の冒険旅行
わんぱく夏まつり	毎年8月後半の10日間、都立武蔵野公園内くじら山と その下の原っぱ、周辺の野川で市民有志が実施している お祭り。子どもたちが自分の手で穴を掘り、木材で大小 の遊具や小屋を建て、水道をひいて「わんぱく村」を建 設。わんぱく村ができたら、原っぱ、野川、作った遊具 などで思い切り遊ぶ。
「青少年のための科学の 祭典」東京大会in小金井	教育・研究・地域産業のコラボレーションにより、新た な文化の創造と地域の活力の醸成を目的に、東京学芸大 学で毎年9月頃に開催される。理科や数学あるいは科学 技術といった分野の実験や工作を一同に集めた1万人規 模の科学イベントで、自然科学の面白さを青少年に体験 してもらう場を提供している。
小金井市新春たこあげ大 会	毎年1月の第2土曜日に都立小金井公園で開催。乳幼児 親子～小学生を対象にたこ1,000枚を配り「たこあげ大 会」を行う。たこの原画は、十二支を題材に、小学生を 対象として夏休みに募集される原画コンクールの入選作 品

## ウ 文化・歴史資料

小金井には3万5千年も前から人々が住み始めたといわれており、先祖の暮らしの証である有形・無形の文化財が数多く残されています。これら文化財を通じて地域に対する認識を深めるとともに、PR資源としても活用してください。

### ●市指定〔登録〕文化財

<b>有形文化財：建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書など</b>
応永廿九年銘薬師如来立像、閻魔堂木造閻魔王坐像附諸像具、金井観花詩歌図巻附小金井桜樹碑拓本、中山谷遺跡10号住居址出土土器群、中山谷遺跡23号住居址出土土器群、野川中洲北遺跡出土旧石器時代石器群及び植物遺体、荒牧遺跡出土旧石器時代石器群、貫井遺跡2・3・6号住居址出土縄文時代中期土器群、中山谷遺跡29号住居址出土縄文時代中期土器群、貫井南遺跡出土縄文時代中期装身具、前原町3丁目出土板碑、鈴木英男家文書、吉野家住宅、天明家住宅附長屋門・飼葉小屋、奄美の高倉、〔貫井遺跡出土片口碗形土器、前原町3丁目出土蔵骨器、小金井橋碑石附小金井橋碑文、陸軍技術研究所境界石杭〕
<b>有形民俗文化財：衣食住、生業、信仰、年中行事等に用いられる衣服、器具、家屋など</b>
渡辺家墓地月待板碑（附1基）、寛文六年庚申塔、寛政六年庚申塔、梶家所蔵板碑群、梶家所蔵宝篋印塔、川崎平右衛門供養塔、宝永五年十六部廻国供養塔、〔下山谷念仏講用具、貫井坂下中組講椀組合什器、国産ミショー型自転車〕
<b>無形民俗文化財：衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術など</b>
野謡、貫井囃子、小金井囃子、関野町餅つき
<b>史跡：集落跡、古墳、旧宅など</b>
空林荘（建物は平成25年焼失）、旧浴恩館（青年団講習所跡）
<b>天然記念物：動物、植物、地質鉱物など</b>
大久保家のカキノキ、浴恩館公園のツツジ群、金蔵院のケヤキとムクノキ、旧谷口家のオニイタヤ

●国指定〔登録〕文化財等

名勝：庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳等の名勝地
小金井（サクラ）
史跡：貝塚、古墳、都城跡、城跡旧宅等の遺跡
玉川上水
重要文化財：建造物、工芸品、彫刻、書籍、古文書、考古資料など
土製耳飾、〔旧中村研一邸主屋、旧中村研一邸茶室（花侵庵）〕
記録選択：指定されていないが、記録作成や公開を行う必要があることから、記録の作成保存の措置を講ずるもの
江戸の糸あやつり人形

●都指定文化財

旧跡：戦前に指定された史跡で、著しく原形が損なっているものや著名な伝説地など
金井原古戦場
無形文化財：演劇、音楽、工芸技術など
糸あやつり
有形文化財：建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書など
旧自証院霊屋、旧前川家住宅主屋、茂呂遺跡出土石器、旧小出邸、旧三井家本邸

●その他、歴史的価値があるもの

人物
川崎平右衛門定孝、小金井小次郎、鈴木三郎右衛門、下村湖人、田澤義鋪、永井銀治郎、本木梅太郎、大久保善左衛門、渋谷安斎、中村研一、河野通勢、大岡昇平
物・場所
武蔵野新田開発陣屋跡、山王窪築樋、梶野の築樋、貫井プール跡、国分寺崖線別荘地群（前田家、波多野家など）、東宮仮寓所・学習院中等科、鴨下製糸場跡、旧中村研一邸・花侵庵、西之台遺跡、貫井遺跡
史実
徳川家祥（後の将軍家定）観桜、御門訴事件、明治天皇行幸、皇太子殿下御勉学の地



(4) 観光大使の紹介

平成30年度現在、20人と1グループの方々に委嘱しています。観光大使御自身の活動の中でも小金井市の魅力をPRしていただいているところですが、市内の行事・催しにおいても、講演会、スポーツ体験イベント等々、機会があればどんどん活用してください。

青木 沙和 さん	仁川アジア大会 セパタクロ 日本代表	市内在住。日本代表に選出され、4大会連続でメダル獲得しました。現在、日本女子代表として数々の国際大会等で活躍しています。
小田島 理恵 さん	バスケットボール (車いす) 選手	市内在住。女子車いすバスケットボール日本代表強化指定選手。日本代表に選出された経歴を持ち、2020年東京パラリンピック出場を目指しています。
Everly さん	ミュージシャン	東京学芸大学音楽科を卒業した松尾兄弟(小金井市出身)が中心となり、2005年、CDデビューしたグループです。デビューアルバムはインディーズランキングポップス部門第1位を記録しました。市内においても頻繁に演奏しています。
金田 和也 さん	ロンドンオリンピック 競泳 日本代表	2012年ロンドンオリンピックで準決勝進出。同年の世界短水路優勝。現在は法政大学での選手指導、兼任講師を務めています。
キン・シオタニ さん	イラストレーター / 詩人	小金井市出身。1995年発表の「長い題名シリーズ」ポストカードで注目され、多くのメディアにイラストを提供しています。
GooF(SOFFet) さん	ミュージシャン / ファッションブランド事業部長	小金井市出身。2003年にメジャーデビューし、7枚のアルバムをリリース。ファッションの領域でも活躍しています。
栗原 ゆう さん	バレエダンサー	市内在住。2015年、ユースアメリカグランプリで1位に輝きました。英国ロイヤルバレエスクールを経て、バーミンガムロイヤルバレエ団に入団
黒田 哲平 さん	ピアニスト	市内在住。2015年第84回日本音楽コンクール第2位、2017年第4回ヴィクトル・メルジャーノフ国際ピアノコンクール優勝など、数々の優秀な成績を収め、将来を嘱望されているピアニストです。
後藤 春日 さん	アジアソフトボール 連盟審判長 / 世界野球ソフトボール 連盟ソフトボール部門 アジア地区審判長	小金井市出身。2002年、日本人女性初のソフトボール国際審判員資格を取得しました。

古畑 篤郎 さん	ロンドンパラリンピック 陸上競技 日本代表	市内在住。2012年ロンドンパラリンピックで、陸上競技（車いす）男子100m、200mに出場し自己ベストを更新。大きな活躍を見せました。
谷口 令子 さん	女子ラグビー選手	東京学芸大学卒業。2016年リオデジャネイロオリンピック女子7人制ラグビー出場。所属チームは、ARUKAS QUEEN熊谷。ポジションはウイング
寺本 進 さん	仁川アジア大会 セパタクロ 日本代表	本場タイのプロチームに所属し、初の外国人選手としてプロリーグに参加。アジア大会で3度メダルを獲得。現在は、亜細亜大学に勤務し、後進の育成や普及活動に尽力されています。
濱井 慧 さん	スキー選手	市内在住。2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・オーストリアに出場。アルペンスキー競技で銀メダルを2つ獲得しました。
林 望 さん	作家 / 国文学者	市内在住。日本エッセイストクラブ賞、国際交流奨励賞等受賞。古典論、エッセイ、小説のほか、歌曲等の詩作、能楽、料理書等、著書多数です。
深田 晃司 さん	映画監督	小金井市出身。2016年「淵に立つ」にて第69回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門審査員賞受賞。2018年にはフランス共和国文化通信省より芸術文化勲章シュバリエを受勲されました。
福田 奈奈子 さん	和紙絵画・押絵作家	市内在住。繊細な作風は国内外で高い評価を得ています。（公社）日本和紙絵画芸術協会の常務理事、NPO法人小金井市文化協会会長も務めています。
古畑 俊男 さん	義足のトライアスロン 選手	市内在住。20歳の時、右ひざ下より切断。水泳との出会いがトライアスロン開始の契機となり、ハワイアイアンマン大会では3年連続出場を果たしました。
三浦 莉奈 さん	ロンドンオリンピック 新体操 日本代表	市内在住。中学生で日本代表に選出、高校生で2012年ロンドンオリンピックに出場。全日本新体操選手権でも団体優勝を飾り、活躍しています。
茂木 栄五郎 さん	プロ野球選手	小金井市出身。2015年、東北楽天ゴールデンイーグルスに入団。走攻守のそろった球界を代表する選手として活躍しています。
YoYo(SOFFet) さん	ミュージシャン	小金井市出身。2003年、SOFFetとしてメジャーデビュー。その後、YoYo the "Pianoman"としてのソロ活動もスタートしました。作曲家としても活動の幅を広げています。
吉田 信一 さん	リオパラリンピック 卓球（車いす） 日本代表	2014年仁川アジアパラリンピック個人ベスト8、団体銅メダルを獲得。国内でも国際クラス別パラ卓球選手権大会7連覇と活躍。小金井市内にある国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）に勤務





© Studio Ghibli

**小金井市イメージキャラクターこきんちゃん**

## 小金井市シティプロモーション基本方針

発行 小金井市企画財政部企画政策課・広報秘書課  
住所 〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目6番3号  
問合せ 042-387-9803（電話） / 042-387-1224（FAX）